

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 清和

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 10 月 31 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	座って！飲んで！と無意識によるスピーチロックが行われている。	スピーチロックを理解し、意識を変える。	①アンケートの実施。 ②勉強会、意見交換の実施。 ③実践。 ④振り返り。	2ヶ月
2	38	入浴後、パジャマに着替えるという習慣になっているが、本当に本人の希望か。職員本意の習慣ではないか。	就寝前のパジャマへの更衣に移行する。	①日課等スケジュールの見直し。 ②利用者への働き掛け。	2ヶ月
3	37	外出(お酒を飲みに行く機会がつかれないのは本人が遠慮をしているのではないか。)	本人の希望を聞いたうえで実現していく。	①本人が言いやすい環境を作る。 ②希望に合わせてスケジュールを組む。	1ヶ月
4	36	脱衣室やフロアに個人名をつけたかごが並んでおりプライバシーが守られていない。	イニシャル表記、かごを必要時以外は裏返すなど工夫を行い、人の目にさらされないようにする。	①プライバシーについて理解を深める。 ②方法を決める。 ③工夫を実践する。	1ヶ月
5	1	千寿福祉会の法人理念を現場の職員が知らない。	理念を知る。	上司に確認を行う。	1ヶ月
6	1	事業所の理念への振り返りを行っていない。	振り返りの時間を設ける。	来月の職員会議で行う。	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。